

安全のために必ずお守りください。

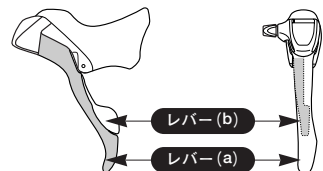
警告

- 製品を取付ける際は、必ず取扱説明書等に示している指示を守ってください。
またその際、シマノ純正部品の使用をお勧めします。
ボルト、ナット等が緩んだり、製品が破損しますと、突然に転倒して重傷を負う場合があります。
- 取扱説明書はよくお読みになった後、大切に保管してください。

使用上の注意

- 変速に関係するすべてのレバー操作は、必ずフロントチェーンホイールを回しながら行ってください。
- 円滑な操作のため、指定ケーブル及びケーブルガイドをご使用ください。
- インナーケーブルとアウターケーブルの摺動部分が、グリス潤滑された状態で使用してください。
- インナーケーブル内蔵フレームは、ワイヤー効率が悪くSISが働きにくいいため、ご使用できません。
- 変速ケーブルには専用グリスを使用しています。DURA-ACEグリスや他のグリスを使用すると変速機能が低下します。
- 取付け、メンテナンスに関してはST-4600の取扱説明書を参照してください。
- FD-4603の取扱説明書もあわせてお読みください。
- 通常の使用において自然に生じた摩耗及び品質の劣化は保証いたしません。
- 取扱い方法及びメンテナンスについて疑問のある方は、購入された販売店にご相談ください。

変速操作



レバー (a) 操作時には、レバー (b) も共に動きますが、レバー (b) には押す力を加えないように注意してください。また、レバー (b) 操作時には、レバー (a) を押さないように注意してください。両レバーに一度に力がかかると変速しません。

変速形態	レバー操作	
小ギア → 中間ギア 	レバー (a) 	変速が完了するまで レバー(a)を操作して下さい。
中間ギア → 大ギア 	レバー (a) 	
大ギア → 中間ギア 	レバー (b) 	変速が完了するまで レバー(b)を操作して下さい。
中間ギア → 小ギア 	レバー (b) 	

トリム操作 (音鳴り解消操作)

変速操作後チェーンの位置によってはフロントディレイラーの外プレートあるいは内プレートとチェーンが接触して音鳴りが発生する場合があります。このような症状が出た場合にレバー (a) あるいはレバー (b) をわずかに操作してフロントディレイラーを少し移動させて接触を解消する操作をトリム操作と呼びます。チェーンが、大、中間、小さいのギアにある時でもトリム操作は行えます。チェーンが下の表の位置にあつて音鳴りが発生した場合はトリム操作を行って音鳴りを解消します。

チェーンの位置	症状	トリム操作	
		レバー操作	フロントディレイラーの動き
大ギア トップ側ギア 中間ギア トップ側ギア 小ギア トップ側ギア	外プレートとチェーンが接触 外プレート チェーン	レバー (a) カチッ (あたりがある)	トリム操作 トリム操作前 → トリム操作後 フロントディレイラーの動き
大ギア ロー側ギア 中間ギア ロー側ギア 小ギア ロー側ギア	内プレートとチェーンが接触 内プレート チェーン	レバー (b) カチッ (あたりがある)	トリム操作 トリム操作前 → トリム操作後 フロントディレイラーの動き

ご使用方法

SI-6UP0A-001

ST-4603

フロントデュアルコントロールレバー

機能を十分に発揮させるために、次のラインナップによる使用を推奨いたします。

シリーズ	TIAGRA
シフティングレバー	ST-4603
アウターケーブル	OT-SP41
スピード	30
フロントディレイラー	FD-4603
フロントチェーンホイール	FC-4603
リアディレイラー	RD-4600-GS
フリーハブ	FH-4600
カセットスプロケット	CS-4600
チェーン	CN-5600
ケーブルガイド	SM-SP17



* 取扱説明書は以下にてご覧いただけます。 <http://techdocs.shimano.com>

製品改良のため、仕様の一部を予告なく変更することがあります。

お客様相談窓口

☎ 0570-031961 Fax. 072-243-7847

株式会社シマノ
堺市堺区老松町3丁77番地 〒590-8577